

一般診断法  
現状

1. 総合評価

日付: 2018年03月14日 14:09:51  
建物コード: 000000  
テスト 様

建物概要

調査日	2018年01月09日	診断者	
建物名称	テスト 様	備考	
建築地		多雪区域区分	一般 係数 0
建物用途	住宅	地震地域係数Z	1.00 係数 1.00
竣工年月(築年数)	1977年(昭和52年)(築10年以上)	短辺長さ	1階: 6m以上 2階: 6m以上
構法	在来軸組構法	混構造割増	木造 係数 1.0
建物重量	非常に重い建物	軟弱地盤割増	軟弱地盤ではない。 係数 1.0
外壁材種	木ずり下地モルタル塗壁	必要耐力割増	1階: 1.00 2階: 1.00
外壁材壁強さ倍率	2.20 (kN/m)	基礎形式	II 健全な無筋コンクリート基礎
2階床面積	46.37㎡ (14.03坪)	柱頭柱脚接合部	III、IV 3kN未満
1階床面積	52.17㎡ (15.78坪)	木製筋かい接合部	釘打ち(2-N75程度)以下
階高	1階: 2800mm 2階: 2800mm	床仕様	III 火打ちなし
有開口壁の耐力計算方法	有開口壁長による算定	必要耐力計算方法	各階の床面積比を考慮した方法
		配置低減計算方法	偏心率を使用した方法

地盤・地形・基礎形式

地盤	対策	選択	注意事項
よい・普通		●	
悪い			
非常に悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行なっている 杭基礎である 特別な対策を行っていない その他		

地形	対策	選択	注意事項
平坦・普通		●	
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁 石積 特別な対策を行っていない		

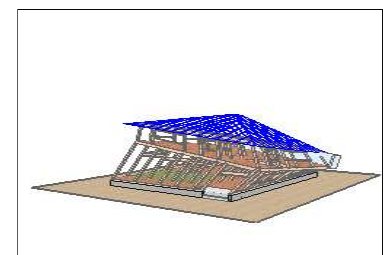
  

基礎形式	対策	選択	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全 ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全 軽微なひび割れが生じている ひび割れが生じている	●	
玉石基礎	足固め+鉄筋コンクリート底盤緊結 足固めのみまたは足固め無し		
その他(ブロック基礎等)			

上部構造評点 = 保有耐力 (edQu) / 必要耐力 (Qr)

階	方向	壁の耐力 Qu (kN)	配置 低減係数 eKfl	劣化度 低減係数 dK	保有耐力 edQu ※ (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 edQu/Qr	グラフ		
								0.7	1.0	1.5
2	X	22.50	1.000	0.81	18.22	36.64	0.49			
	Y	19.38	1.000		15.69		0.42			
1	X	38.33	0.416		12.91	60.52	0.21			
	Y	42.83	1.000		34.69		0.57			

※ edQu = Qu \* eKfl \* dK



<地震被害想定3次元CG>

総合評価 (建築基準法の想定する大地震動での倒壊の可能性)

上部構造評点のうち最小の値	評点	判定
0.21	1.5以上	◎倒壊しない
	1.0以上~1.5未満	○一応倒壊しない
	0.7以上~1.0未満	△倒壊する可能性がある
	0.7未満	×倒壊する可能性が高い

<その他注意事項>